

かべ新聞

第146号

2022年
2月21日

JR東海労働組合
新幹線地方本部
東京車両所分会

2022 春闘勝利に向け

本部団体交渉委員と共に頑張ろう！

☆ベア6,000円

☆定期昇給6,000円及び

現等級経過年数による基準昇給額の逡減撤廃

☆夏季手当×3.5ヶ月分、専任社員はプラス5万円

2022 春闘がスタートしました。賃金引き上げと夏季手当が要求の柱です。特に期末手当について会社から「安定的支給ベース」と言っていたにもかかわらず、3期連続2.2ヶ月という低額に抑え込まれました。この事は、全社員の気持ちを裏切ると共に、生活設計をも破壊する低額回答でした。

では、春闘ではどのような要素で賃上げが決定されるのでしょうか？労使の対立があるから団体交渉を行うのです。その場合①労使の力関係、②会社の支払い能力、③世間相場が大きく影響します。職場で苦勞している『組合員の声』をぶつける本部団交委員と共に職場からも連帯してしっかり闘おう！

分会は、2022 春闘においても『一言短冊』を取り組みます。短冊には、組合員の会社に対する怒りや諸要求、理不尽さを記載し発信します！

JR 東海労は他にも多くの要求を申し入れています！

改訂新人事・賃金制度等について、次の通り改善すること

☆祝日手当を復活させること。また、E単価（祝日手当）を1時間当たり50/100 とすること。

☆準夜勤手当 400 円を 500 円とすること。

☆車両・工務係員手当

賃金規程第 105 条 30 及び 31 に該当する従事員の手当を一律 30,000 円とすること。なお、交番検査従事者は月額 40,000 円とすること。

共に闘う仲間と連帯し JR 春闘を貫徹しよう！